

ちを表していただく物であり、私は、皆さんから頂く[謝礼]によって、私に対する[感謝]のお気持ちを受け取ります。

ですから、その[感謝]のお気持ちに見合った[謝礼]の金額・内容をお決め下さい。

その際にご家庭で話題にしていただけば、子供達にとっても、[感謝]や仕事、生活・生計、価値と価格、お金や経済、助け合い、…等々、人生上の大切な事柄を考える貴重な機会になるだろう、とも思います。

分からない事が有れば、是非ご遠慮無くお尋ね下さい。

普通と違う事をしているのは、私自身、よく分かっていますから^^  
ただ、[謝礼]の金額を決めてくれ、と云うのは勘弁してください。

それでは、授業料を取るのと同じ事になりますから^^;

この事についての私の気持ちは、「[栗谷塾の経営理念\(PDF版\)](#)」に載せた「**【参考】授業料制導入以前に掲載していた二つの『私が[謝礼]制を考えるに至った理由』**」から変わっていません。

私が、授業料として徴収した 10000 円紙幣よりもそれに添えて頂いた謝礼の 1000 円紙幣の方が遥かに価値が有る、と感じた人間であることを忘れないでいただきたい、と思います。

私は、[謝礼]の金額で皆さんの[感謝]の量を測ったりはしません。  
紙幣の額面は国立印刷局の職員が書いたものであり、私が書いたものではありません。

私がこれまでに栗谷塾で受け取った紙製の[謝礼]で最も高価だった物には、数字ではなく短い言葉のメッセージが書いてありました。

## 栗谷塾公式ウェブサイトより

# 栗谷塾の学費



2016年01月01日(金)

「<sup>あわや</sup>栗谷塾の経営理念」で述べたように、栗谷塾は本来[謝礼]制の塾ですが、<sup>ことなか</sup>自分に都合の悪い事は無かった事にする“事勿れ主義”の気風とそこから生まれる諸問題への対策として、2016年1月より、入塾・復塾する方には、[謝礼]制の段階の前に、準備段階として授業料制の段階を置かせていただく事にしました。

#### ■授業料制の説明■

月額授業料は以下の通りで、全学年共通です。

週1回(月4回) 14000円 (半ヶ月(授業2回)分 7000円)

週2回(月8回) 17000円 (半ヶ月(授業4回)分 8500円)

週3回(月12回) 19000円 (半ヶ月(授業6回)分 9500円)

週4回(月16回) 20000円 (半ヶ月(授業8回)分 10000円)

※1回の授業は原則90分で、全教科対応です。

入塾金 10000円

教材費・設備費 必要ありません。月額授業料に含めています。

※特別に教材を購入したり行事で出掛けたり等、特別に必要な場合のみ、実費をご負担下さい。

※授業料は、当該月の前の月の月末までにお納め下さい。

※入塾月には、その月の授業回数を1ヶ月分か半ヶ月分かで決めていただき、それに応じた月額授業料を頂きます。

※入塾時には、入塾金、入塾月の授業料(上記)、翌月分の授業料をお納め下さい。

それにしても、先に書いたように、授業料制は、[謝礼]制への準備段階として置かせていただいた物です。

私としては、[謝礼]制で通塾していただけるのが一番です。

ですから、[謝礼]制と栗谷塾の真意を認識していただく為に一人の保護者の方に当塾で開く講演会に原則10回ご出席頂いたら、**授業料制から[謝礼]制への移行**をご提案させていただきます。

[謝礼]制に移行なさるかどうかがお決め<sup>いただ</sup>き、お伝え下さい。

[謝礼]制への移行をご希望頂いた方には、翌月分まで授業料を頂き、翌々月から[謝礼]制に移行していただきます。

#### ■[謝礼]制の注意点■

**[謝礼]制**とは、「栗谷塾の経営理念」にも書いた通り、**生徒・保護者の皆さんの方から、金額や時期等、自由に決めていただいて、その都度任意で納めていただく学費方式**です。

10回の講演会出席を経て[謝礼]制に移行された方には言わずもがなの話だとは思いますが、「[謝礼]の金額は自由。」と言っても、「少いで構わない。」と言っているのではありません。

私は、皆さんから頂く[謝礼]で生活し、栗谷塾は、皆さんから頂く[謝礼]で存続し機能しています。

また、**[謝礼]制の[謝礼]**は、「私が生徒・保護者の皆さん一人一人の為に力を尽くす働きを評価していただいて、**思い思いの[感謝]の気持**